

\*\*\*\*\*

日本産業洗浄協議会 メールマガジン 第95号

\*\*\*\*\*

第95号をお送り致します。

梅雨真ただ中と思っていたら沖縄では梅雨明けとか。毎年この時期になると、うっとうしい季節は早く過ぎてほしいとおもいます。

うっとうしいといえば、相変わらずマスクの日々も続いています。熱中症に気をつけつつも、こちらについても早く解放される日が来てほしいものです。

今月は、(1) トピックス:

【税制審査様式1の変更】

【<締め切り迫る> 第25回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞】

(2) 連載:東西対決 JR環状線「弁天町駅」(ペンネーム: MJ)

(3) リレーコラム:『庭という名の雑木林』~ (ペンネーム: メイトウラム)

\*このメールは、日本産業洗浄協議会の各種イベントでお預かりしたメールアドレス宛にお送りしています。不要な方は、末尾にてその旨ご返信下さい。

.....

(1) トピックス

.....

【税制審査様式1の変更】

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書の承認者名が変更になりましたので、下記リンクから新規様式をご利用ください。

税制審査様式1。

<http://jicc.org/certificate/index.html>

証明書の作成(記入)

【<締め切り迫る> 第25回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞】

日刊工業新聞社では現在「オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」を募集しております。「オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」は「オゾン層の破壊を防ぐ」「地球温暖化を抑制する」ための技術・製品等を対象とし、顕著な功績をあげた企業・団体・個人に「経済産業大臣賞」「環境大臣賞」等を授与しています。

ご参考までに「オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」の応募要項をご連絡いたします。

ぜひ、業界団体におかれましては会員企業の皆さま、行政機関や研究機関におかれましては助成先や共同研究先等にご応募をお勧めいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

■応募方法

「オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」公式ホームページより応募登録 → 申請書のダウンロード → 必要事項ご記入の上・申請書アップロード

<http://biz.nikkan.co.jp/sanken/ozon/>

(応募締切6月30日)

「オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」日刊工業新聞で検索していただいても結構です。

■参考過去受賞者アンケート結果及び 24 回受賞者発表

<https://biz.nikkan.co.jp/sanken/ozon/number24.html>

■お問い合わせ

日刊工業新聞社 日刊工業産業研究所「オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」事務局

TEL.03-5644-7112

E-mail : ozone@nikkan.tech

(2) 連載:東西対決 JR 環状線「弁天町駅」(ペンネーム: MJ)

「弁天町駅」は、大阪市港区にある JR 西日本・Osaka Metro の駅です。駅番号は、JR 西日本が JR-O15、Osaka Metro が C13。大阪環状線と地下鉄中央線の乗換駅となっています。大阪環状線ホームの発車メロディは、アメリカ民謡の「線路は続くよどこまでも」が使用されています。これは昔、駅の高架下に交通科学博物館(旧称:交通科学館)があったためです。駅シンボルフラワーは「向日葵」です。

弁天町の人気スポットは、空庭温泉 OSAKA BAY TOWER でしょう。弁天町駅直結の商業複合施設で天然温泉、ホテル、飲食店街、アミューズメントパークなどが揃った TOWER 街です。

MAIN TOWER は、5F~19F がオフィスでそれ以外は ART HOTEL が入っています。最上階 51 階はホテルのビュッフェレストランになっており、京阪神の絶景を見ながら食事を楽しめます。

BAY TOWER EAST はレストラン街



楽しみに。

、BAY TOWER WEST はショッピング街とラジオ大阪、BAY TOWER NORTH は空庭温泉、PRIOR TOWER はオフィス街となっています。

コロナ禍まではユニバーサルスタジオに観光に来られた外国人客が温泉を楽しむ場所として賑わっていました。新型コロナの沈静化と外国人観光客が再び戻ってこられることを祈念しています。

次回は、ユニバーサルスタジオへの玄関口「西九条駅」を予定しています。お

(3) JICC クルーによるリレーコラム Vol.25

～『庭という名の雑木林』～ (ペンネーム:メイトウラム)

義理の父から庭木の剪定を頼まれる、父は父でも義理だから嫌でも断れない。  
庭木と言えば聞こえはいいのだが、ほぼ雑木林状態の樹齢が30年以上の巨木ばかり。  
小手先で枝を切ってもなんとなくしっくりしない。  
かといって誰に相談したらいいのかもわからない。どうせやるなら少しでも見栄えを良くしたい、  
そんな思いが募ったころ新聞広告で庭園技能の記事発見。一念発起し通信講座の受講を決意。  
数日後テキストが送られてきて中を確認すると本が3冊、ガイダンスを読むと〇〇ページまで  
読んだら理解度テスト。それがなんと6回もある。  
内容はというと最初は庭とは何ぞや、歴史とはなど今の自分にとってはどうでもいい内容ばかり。  
でも折角お金も払っているしと思い真面目に勉強に取り組む。  
そんな生活を続けているとなんとなく面白くなり気が付けば予定より早く受講終了し修了書まで  
いただくことに。  
そして勉強の成果と思い“いざ雑木林へ”まずは時期的に松のみどり摘みから始めてみることに。  
やってみると意外と面白い。この時期に芽を摘み取っておくとなるほどこれ以上伸びることは  
ない。その後、形を整えるために枝の剪定を試みる。必要な枝とそうでない枝を見分けながら  
剪定していく。一日かけてやっと一本の松の作業を終えると、なんということでしょう。テレビの  
ビフォーアフターのごとく見栄えのいい松に変身したではないか(多分に自画自賛ですが)。  
作業を終えた達成感から解放されると足元には大量の枝。とりあえず一か所にまとめて本日  
の作業終了。夕方には慣れない木登りと無理な姿勢が祟り全身筋肉痛に…。  
いつになったら見栄えのいい林になるかわからないが、今後、休みの度に木の世話をするんだ  
ろうな？楽しみながら終わることのない作業の始まりです。 終わり

\*\*\*\*\*  
最後までご覧いただきありがとうございました。今後ともご愛顧のほどよろしくお願い致します。  
▼《配信停止》をご希望の方は、お手数ですが以下をクリックし、その旨ご記入いただき送信下  
さい。▼

[sskjicca@jicc.org](mailto:sskjicca@jicc.org)

▽お送りしたこのメールは、送信専用ですのでこちらには、返信しないで下さい。▽